

重大な災害には特別警報

ただちに命を守る行動を

気象庁はこれまで、大雨や地震、津波などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼び掛けていました。

今年8月30日からは、特別な警戒を呼び掛けるために、新たに「特別警報」を創設。より甚だしい大雨や大きな津波などが予想される場合に特別警報が発令され、重大な災害の危険性が高まっていることをお知らせします。

特別警報が出た場合、対象となる地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。屋外からの避難指示・勧告などの情報に留意し、避難所へ

避難するか、屋内の比較的安全な場所にとどまるかなど、ただちに命を守るための判断・行動をとってください。

問い合わせ 気象庁岡山地方気象台
防災業務課 (☎086-223-1334)



健康アドバイス

今月のテーマ
心房細動と脳梗塞

一度心電図検査を受けてみましょう

細動でも脳梗塞の発症は少なくなく、脳梗塞発症後に診断される場合もあります。また、発作がたまにしか起こらない発作性心房細動は、発作時にしか心電図に異常を認めず、無症状の場合もあるので診断が困難です。

心房細動による脳梗塞予防の治療は抗凝固薬であるワルファリンが従来使用されています。しかし、食事や他薬剤との相互作用の問題や、血液検査を頻回にして容量を決めるなどの煩雑な面があります。そこで、平成23年11月に新しい抗凝固薬が発売され、現在3つの新薬が

あります。3つの新薬は、ワルファリンと同等以上の脳梗塞予防効果があるとともに、ワルファリンで懸念される出血性合併症が少ないとのデータもあります。

抗凝固薬服用の判断基準については、「心不全」「高血圧」「高齢」「糖尿病」「脳梗塞／一過性脳虚血発作の既往」を考慮して適応を決定するケースが多く、新薬の登場でさらにその適応が拡大している現状です。

65歳以上の人はぜひ一度心電図検査を受けましょう。詳しくは各ホームドクターか循環器専門医にご相談ください。

杉生 祐史 医師
(吉備医師会から)

心房細動は、心疾患がなくても加齢とともに罹患率が高くなる不整脈で、脳梗塞の原因となることがあり、しかも、その脳梗塞は重症となりやすいことが知られています。

心房細動の診断機会ですが、動悸などの症状を有する場合と健診などで発見される無症状の場合があります。無症状の心房

その電話、詐欺ではありませんか

あなたは逮捕される」と不安をあおり、その不安に乗じて現金を要求する

○電話などで値上がり確実と嘘を言って、実際にはそれほど価値のない未公開株や社債、外国通貨、宝石などを送りつけて現金を要求する

■犯人が狙いやすい人

- ①日中家にいる可能性の高い人
- ②投資に関する経験や知識に乏しい人
- ③警戒心が希薄な人
- ④周りの人に相談しない人
- ⑤電話の受け答えやパンフレットの印象で相手を信じる人

■電話の相手を詐欺かもしれない

と疑ってみるキーワード

- あなたは選ばれた人である
- あなたしか購入できない
- 未公開株 (社債・外国通貨) を購入すれば、必ず儲かる
- 名義を貸して欲しい
- 逮捕されたくなければ、弁護士のとおりにして
- 品目を本として、現金を小包 (またはレターパック) で送ってほしい

不審な電話がかかってきた場合は、家族や周囲の人に相談をして、詐欺の被害に遭わないようにしましょう。

監修・問い合わせ 総社警察署 (☎94-0110)

安全・安心

総社署からのすすめ

オレオレ詐欺をはじめとする特殊詐欺には、いろいろな手口があります。最近、金融商品等取引名下の詐欺が増加傾向にあります。

■最近の手口

○金融商品のパンフレットを被害者に送付し、犯人グループが「自分は買えないので、名義だけを貸してほしい」と電話をかけ、承諾させた後、別の犯人が「名義貸しをしたあ

防災標語の優秀作品が決定

日ごろから備える心を忘れないために

市民の防災意識を高めるための防災標語の優秀作品6点が決定しました。

防災標語は5月25日から31日までの総社市防災週間の実施に伴い、災害に対する防災意識の高揚を図るために、広く市民に募集したものの応募総数は小学生以下、中学生、一般の部を合わせて202点。最終選考では市民投票が行われ、優秀作品6点が決定しました。今後、

最優秀賞

「防災は 日ごろの声かけ 助け愛(合い)」
杉野雅子さん(久代)

優秀賞

「日ごろから 家族で話そう ひなん場所」
渡邊友登さん(常盤小4年)

「さいがいつ 心を一つに 助け合い」
森信潔弥さん(常盤小4年)

「自分しか 自分の命は 守れない」
山本玲央菜さん(総社東中2年)

「備えよう 安全・安心 防災クツズ」
國府朋香さん(総社東中2年)

「支え合う 地域の安心 防災活動」
山本敬二さん(久代)

「これらの標語はさまざまな防災啓発活動に使われます。」

問い合わせ 総務課行政係 (☎8218)

自主防災組織の活動

下原・砂古自主防災組織



ダンボールで仮設ベッドを作る参加者

下原・砂古自主防災組織が防災の日である9月1日、本格的な総合防災訓練を実施。訓練目的や内容などを主体的に企画し実行しました。

地区住民ら277人が参加。水害が発生したことを想定し、避難訓練、誘導訓練、人員確認をしました。また、要援護者への対応や非常食の展示、試食など多岐にわたるプログラムでした。

自助・共助の要、自主防災組織。万が一の災害に備え、町内会や自治会などを単位に結成をお願いします。